

平成二十七年度 卒業式 祝辞

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また本日まで立派にお子様を育てられた保護者の皆様にも、心よりお祝いを申し上げます。そして、日頃より情熱と愛情をもって生徒たちに接して頂きました校長先生を始め教職員の皆様方、いつも子供たちを暖かく見守って頂きました地域の皆様にも、保護者を代表してお礼を申し上げます。

卒業生の皆さんは、この三年間にいろんな出来事があったことでしょう。授業で学んだこと、部活動や体育祭、文化祭で頑張ったこと、修学旅行や楽しかった思い出。今朝、制服に最後の袖を通すとき、さまざまなことが頭に浮かんだと思います。

高校までは、保護者や周囲の大人が守ってくれる生活であり、それはときに不自由さを感じさせるものであったでしょう。しかし、これからは、子供扱いはされません。

自分の意志が尊重され、選択できる幅が広がる反面、責任もまた大きくなります。

私自身は、大人、社会人とは、自分自身に責任のとれる人だと考えています。若い皆さんがこれから生きていくうえでは、いろいろな壁や悩みにぶつかることもあるでしょう。どんな壁に対しても、知恵を絞り行動を起こして乗り越えてほしいですし、また反対に、どうあがいても達成されないと感じた時は、軌道修正をし、引き返す勇気もときに必要となってきます。

どんな結果になったとしても、自分が決めたことだという自覚を持ち、決して人や社会のせいにはしないでほしいのです。こう言うと何もかも自分でやらなければならないと、気が重くなってしまいかもしれませんが、皆さんが、今まで愛した全ての人たちは、今後も皆さんをいつまでも応援しています。

人が一人でやれることには限界があります。周囲の人に協力を求めることもまた選択肢の一つです。健全な姿勢で頼ることも、大人として求められてくるスキルです。もちろん、周りの方が困っていたら、自分の能力を最大限生かして、手をさしのべてください。人は一人では生きていけません。今後の人生の中で経験を大切に、感謝の気持ちと勇気を持って、人として成長して行ってください。

卒業生の皆さん一人一人が輝かしい未来へ羽ばたいて行くことを願い、またそうなることを確信いたしまして、私の挨拶といたします。

最後になりますが、ここまで導いて下さった校長先生をはじめ教職員の皆様方、PTA活動に惜しみないご協力を賜りました保護者の皆様に重ねて感謝を申し上げ、祝辞といたします。

ご卒業、おめでとうございます。

平成二十八年三月一日

高知県高等学校PTA連合会
会長 川北 恭弘

